

※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。

 鹿屋

### 星塚敬愛園の夏祭り 地域住民と交流



8月3日、星塚敬愛園で夏祭り納涼大会が開催されました。

この祭りは、入所者と地域住民に交流を深めてもらおうと開催されているもので、今年で33回目。

祭りでは、敬愛園職員による踊りや歌が披露されたほか、ご当地ソングの女王と称される水森かおりさんの歌謡ショーも行われました。

また、祭りの最後には夜空を鮮やかに彩る17種類の花火が打ち上げられ、会場に集まった地域住民など約3,000人は、2年ぶりに開催された夏祭りを楽しみながら、交流を深めていました。

 鹿屋

### 古代ロマンを訪ねる



7月21日・8月3日・4日の3日間、市内各地で「文化財ウォッチング」が開催されました。

これは、毎年行われているもので、市内の小学生33人が参加。1日目は粘土を使って土器を作り、2日目は火おこしや勾玉・クレヨンぞうがん作りや製作した土器の野焼きなどを行ったほか、串良町の田原迫之上遺跡の発掘体験、文化財センターの見学などを行いました。参加した児童たちは「授業では習わない貴重な体験ができて嬉しかった」「来年も参加してもっと大きな土器を作りたい」などと感想を話し、歴史に興味を持つきっかけ作りになったようでした。

 鹿屋

### ふるさとの文化財を探検



7月27日・28日の2日間、郷土の貴重な文化財を見学する「文化財たんけん隊」が行われました。

これは、文化財への理解と愛護精神を育ててもらおうと毎年行われているもので、市内の小学生86人が参加。

当日は、田の神像や石塔などそれぞれの地域の貴重な文化財を見学し、郷土の文化財を再発見していました。

 鹿屋

### 子どもの健やかな 成長を願う



7月31日、高須町で祇園祭が行われました。波之上神社で、神事・舞奉納のあと、市の無形民俗文化財「刀舞」が、ご神幸の先導をつとめ、町内を巡行しました。

刀舞とは、長刀舞など5種類の舞の総称。舞が終わると鬼神が「子どもの健やかな成長への願い」を込めて、子どもを追いかけます。観客は怖がる子どもたちを温かい目で見守っていました。

 鹿屋

### 飛び出す絵本に ワクワクドキドキ



7月30日から8月7日まで、リナシティかのやで飛び出す絵本展が開催されました。

会場には、世界各国のめずらしいしかけ絵本約150冊を展示。9日間の展示期間中に2,462人が来場しました。動いたり、音が鳴ったりと、驚きがいっぱい詰まった様々な種類のしかけ絵本に子どもだけでなく、大人も童心にかえって楽しんでいました。

 鹿屋

### 個性あふれる 歌や演奏を披露



7月31日、リナシティかのやで「サマーミュージックフェスティバル2011」が行われました。

一般の部、ティーンズの部の2部門で計26組78人が出場。各チームは、個性あふれる歌や演奏を披露し観客をわかせていました。

最優秀賞は次のとおり。

【一般の部】トリックスター

【ティーンズの部】

Z (インピーダンス)

 輝北

### 中学生が熱戦



8月9日・10日の2日間、輝北運動場や輝北中学校などで「第55回大隅地区中学新人野球大会」が開催されました。

この大会は、青少年の健全育成を目的に昭和32年から開催されている伝統ある大会で、今年は市内外から20チームが参加。強い日差しと猛暑の中、選手たちはチームの勝利のために一生懸命プレーし、熱戦を繰り広げていました。

 鹿屋

### 自分たちの地域を 全員で守る



8月30日、「西原2丁目西町内会婦人部夜間声かけ隊」が、子どもたちが一番犯罪に巻き込まれやすい夏休みの終盤に、町内の防犯パトロールを行いました。

女性だけで組織された防犯パトロール隊は市内では唯一で、自分たちの地域は、地域全員で守ろうと婦人部で組織されたもの。今後、定期的に巡回を実施し防犯強化に努めるとのことです。

 鹿屋

### 阿蘇の自然を満喫



8月16日から19日の4日間、熊本県の阿蘇地方で「かのやっわくわくアドベンチャーインあそ」が行われました。これは、様々な活動に挑戦し自己を磨き豊かで強い心を養おうと行われたもので、市内の小学5年生から中学3年生までの29人と高校生ボランティア8人が参加。

阿蘇では、南種子子ども会との交流活動としてピザ・パンづくりを行ったほか、「火山博物館」の見学、阿蘇トロッコ列車、乗馬体験などを行いました。参加者は、「阿蘇でしかできない経験ができて楽しかった」などと満足していました。

 鹿屋

### 農業に関する 様々なことを体験



8月18日、市内各地をめぐる「夏休み農業体験ツアー」が行われました。

これは、市が行った農業者海外研修事業の参加者で組織する雄飛会が、子どもたちに、より農業への関心を持ってもらおうと、夏休みを利用して開催したもの。当日は、市内の小学生38人が参加して、子牛のセリ市や牛乳の製造過程の見学、笠野原台地の農業の歴史や畑かん農業について学んだほか、イモ堀り体験なども行いました。参加した小学生には、農業を肌で感じる機会となり、農業の大変さや楽しさを実際に体験して学ぶ一日となりました。